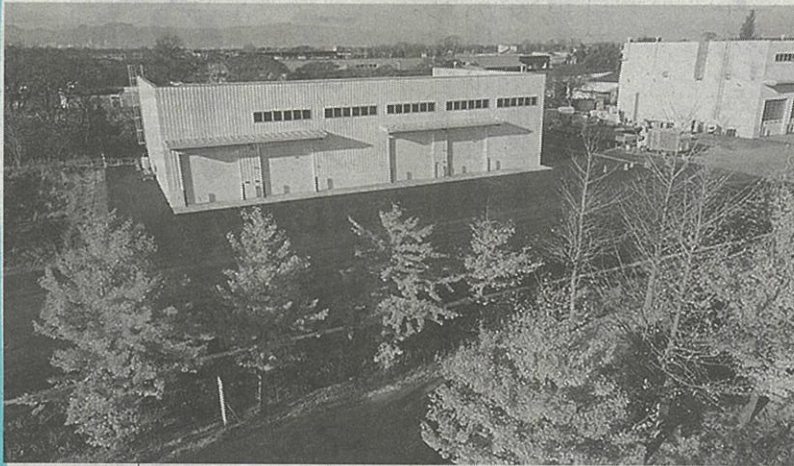


工場稼働でサービス拡大

カネタG フレーム修正や板金・塗装



既存の工場
の隣に新棟
を建設

既存の工場の隣に新棟を建設し、「板金・塗装十トトラックボデー架装工場」と場と同じフレーム修正機を導入。事故によるトラックのゆがみやねじれなどを修正する。塗装ブースも備え、新車の全塗装や、事故車両、古くなった車両のリフレッシュ塗装が可能だ。天井高とスペースの長さに余裕を持たせており、高所作業車やクレーン車、その他特殊車両も年間を通して屋内で修理できる。

金田自動車(金田一宏社長、北海道旭川市)を中核とするカネタグループは、「トラック整備工場 札幌店」(江別市)で新工場を稼働させ、サービスを拡大している。専用の機器やブースにより、トラックのフレーム修正、板金・塗装、架装などに対応。最新型のDPF(ディーゼル排気微粒子除去装置)洗浄装置も採り入れている。

金田自動車(金田一宏社長、北海道旭川市)を中核とするカネタグループは、「トラック整備工場 札幌店」(江別市)で新工場を稼働させ、サービスを拡大している。専用の機器やブースにより、トラックのフレーム修正、板金・塗装、架装などに対応。最新型のDPF(ディーゼル排気微粒子除去装置)洗浄装置も採り入れている。

物流事業者むけ損保仲介

AIコンサルニーズ沿った商品提案

AIコンサルタント(新妻正教社長、札幌市中央区)は、物流事業者向けの損害保険の仲介を手掛ける。顧客のニーズに寄り添った最適な商品提案や有事の際のスピーディーな対応が好評で、口コミや紹介を中心に契約件数を伸ばしている。同社は道内を中心に、関東や東海、近畿など全国に15拠点を展開。生命保険や損害保険に加え、住宅ローンや投資信託など様々な金融商品を提供している。



また、物流業界に精通した行政書士や社会保険労務士、税理士、不動産会社などとも提携。保険はもちろんだが、労務や税務、土地・建物の売買に関する悩みなどにもワンストップで対応する。特に好評なのは、事故が起きた際のきめ細やかな対応。問い合わせに対し、担当者が保険の内容や補償の範囲、取るべき対応などを素早く指示することで、仕事の遅延と現場の混乱を最小限に抑えている。更に、ドライブレコーダーで事故の映像をチェックし、ドライバーや管理者の問題点などを指摘。第三者目線でのアドバイスが、事故の削減や意識改革につながったと喜ばれているという。

また、物流業界に精通した行政書士や社会保険労務士、税理士、不動産会社などとも提携。保険はもちろんだが、労務や税務、土地・建物の売買に関する悩みなどにもワンストップで対応する。特に好評なのは、事故が起きた際のきめ細やかな対応。問い合わせに対し、担当者が保険の内容や補償の範囲、取るべき対応などを素早く指示することで、仕事の遅延と現場の混乱を最小限に抑えている。更に、ドライブレコーダーで事故の映像をチェックし、ドライバーや管理者の問題点などを指摘。第三者目線でのアドバイスが、事故の削減や意識改革につながったと喜ばれているという。

内では初めてという。トラックボデーの製作・加工も手掛ける。最新のDPF洗浄装置「エキゾストリーム」により、コスト削減や環境負荷の軽減に寄与する。同社によると、札幌店の整備工場では導入されるのは初めてという。「トラック整備工場 札幌店」は2023年7月、トラック展示場「275トラックスセンター」の隣にオープンした。カネタグループによると、トラック展示場では道内最大規模。全体の敷地面積は合計6万2千平方メートルで、大型トラックも出入りしやすい。物流施設が集まる札幌市東区、白石区、石狩市の石狩湾新港地区へのアクセスにも優れている。

の敷地面積は合計6万2千平方メートルで、大型トラックも出入りしやすい。物流施設が集まる札幌市東区、白石区、石狩市の石狩湾新港地区へのアクセスにも優れている。

沿道で街頭啓発

札幌市西支部

札幌地区トラック協会の札幌西支部(林勇作支部長)は4日、札幌市生涯学習総合センターちえりあ(札幌市西区)前の沿道で街頭啓発を実施した。春の全国交通安全運動に合わせ、事故防止の意識高揚を図るのが狙い。

無線局開局 入出港支援

仙台塩釜港仙台区

ほか、大型タンカーやコンテナ船、フェリーやRORO船など大小の多様な船舶が行き交い、1日当たり30隻超、年間6千隻が寄港する。特に、早期や昼過ぎ

島島の小名浜港に続く2番目の開局となった。1日に報道陣に公開した局内では、委託業者のオペレーター2人が港内がモニター、中は双眼鏡で状況把握した。宮城県土木部港湾課

